



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月8日

上場会社名 ヒラキ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3059 URL <http://company.hiraki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 向畑 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略室長 (氏名) 姫尾 房寿 (TEL) (078) 967-4601
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 平成28年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	9,192	2.0	408	29.8	377	37.6	255	62.3
28年3月期第2四半期	9,012	4.3	314	87.9	274	240.6	157	285.4

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 160百万円(678.2%) 28年3月期第2四半期 20百万円(△79.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	52 37	—
28年3月期第2四半期	32 27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	18,740	4,813	25.7
28年3月期	17,321	4,701	27.1

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 4,813百万円 28年3月期 4,701百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10 00	—	10 00	20 00
29年3月期	—	10 00			
29年3月期(予想)			—	10 00	20 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	6.3	650	16.8	550	12.7	350	22.1	71 85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項、(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	5,155,600株	28年3月期	5,155,600株
29年3月期2Q	284,630株	28年3月期	284,630株
29年3月期2Q	4,870,970株	28年3月期2Q	4,870,970株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復基調にあるものの、円高の進行や株式市場の不安定な動向により海外経済の下振れ懸念もあり、依然として不透明な状況となっています。当社グループが属する小売業界も、個人消費は力強さを欠く状況が続いており、厳しい環境にあります。

このような状況の中、当社グループは上場10周年を迎える本年度を梃子として、さらなる商品力およびマーケティング力の強化を図り、安く作り・安く売れる体制づくりに取り組み、事業展開を進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高91億92百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益4億8百万円（前年同期比29.8%増）、経常利益3億77百万円（前年同期比37.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億55百万円（前年同期比62.3%増）と増収増益となりました。

当社グループの報告セグメントの当第2四半期連結累計期間における業績は次のとおりであります。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、関東・関西を主に、延べ3ヵ月に亘るCM広告、WEB広告の強化および上場10周年記念クローズド懸賞等の販売促進策が新規顧客の増加に寄与し、売上高は46億38百万円（前年同期比5.7%増）となりました。利益面では、10周年記念キャンペーンクーポンに係る費用等の増加を増収に伴う売上総利益の増加が上回った結果、セグメント利益（営業利益）は4億42百万円（前年同期比15.7%増）と増収増益となりました。

商品面では、3月より発売しました上場10周年記念商品『PITTSANDAL（499円）』は累計20万足を、8月より発売しました同記念商品『ファミッポン（499円）』は発売2ヵ月で既に6万足を超えるご注文をいただくヒット商品となりました。

② ディスカウント事業

ディスカウント事業におきましては、来店客数増加を図るため上場10周年記念感謝祭セールや、27回の外部催事等を精力的に展開しましたが、売上高は41億82百万円（前年同期比1.8%減）となりました。利益面では、靴を中心にPB商品売上の構成比アップによる粗利益率の改善、および照明のLED化等による水道光熱費等の販売費及び一般管理費の削減により、セグメント利益（営業利益）は1億5百万円（前年同期比39.9%増）と減収増益となりました。

なお、平成28年10月1日に大阪府豊中市にPB商品を主体とした靴専門店「サンパティオ庄内店」をオープンいたしました。

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、大口OEM取引先に対する安定した売上高の確保ならびに小売店向け販売の堅調な推移により、売上高は3億72百万円（前年同期比1.2%増）となりましたが、販売費及び一般管理費の増加により、セグメント利益（営業利益）は54百万円（前年同期比10.5%減）と増収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況の分析)

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、15億52百万円増加し、120億34百万円となりました。これは、現金及び預金が11億48百万円増加、商品が3億84百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ、1億33百万円減少し、67億6百万円となりました。これは、建物及び構築物が94百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、14億19百万円増加し、187億40百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ、1億46百万円増加し、48億86百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が2億51百万円、未払法人税等が74百万円増加し、買掛金が1億36百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ、11億60百万円増加し、90億40百万円となりました。これは、長期借入金11億94百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、13億7百万円増加し、139億27百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、1億11百万円増加し、48億13百万円となりました。これは、利益剰余金が2億6百万円増加し、繰延ヘッジ損益が91百万円減少したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.4ポイント減少し25.7%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、「財務活動によるキャッシュ・フロー」で得られた資金を、「営業活動によるキャッシュ・フロー」および「投資活動によるキャッシュ・フロー」で使用した結果、前連結会計年度末に比べ3億48百万円減少し、19億53百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、1億15百万円(前年同四半期は9億59百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3億77百万円の計上、たな卸資産の増加3億91百万円、仕入債務の減少1億31百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、15億89百万円(前年同四半期は13億95百万円の使用)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出47億円、定期預金の払戻による収入32億3百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、13億60百万円(前年同四半期は7億9百万円の獲得)となりました。これは主に、長期借入れによる収入27億50百万円、長期借入金の返済による支出13億4百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在の状況を踏まえ、平成28年8月5日の決算短信にて発表しました平成29年3月期の業績予想を検討した結果、当該四半期において平成29年3月期の連結業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,305,835	6,454,030
受取手形及び売掛金	1,166,498	1,137,831
商品	3,688,858	4,073,464
未着商品	62,836	69,920
貯蔵品	16,651	16,396
繰延税金資産	183,069	235,889
その他	74,228	64,630
貸倒引当金	△16,298	△17,726
流動資産合計	10,481,679	12,034,437
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,067,752	2,973,151
土地	3,157,566	3,157,566
その他(純額)	239,503	216,657
有形固定資産合計	6,464,822	6,347,375
無形固定資産	215,059	193,176
投資その他の資産	160,060	165,831
固定資産合計	6,839,942	6,706,383
資産合計	17,321,621	18,740,820
負債の部		
流動負債		
買掛金	939,182	802,731
1年内返済予定の長期借入金	2,193,112	2,444,248
未払法人税等	84,578	159,106
賞与引当金	141,823	144,651
役員賞与引当金	-	3,470
ポイント引当金	42,541	61,646
その他	1,338,532	1,270,626
流動負債合計	4,739,771	4,886,479
固定負債		
長期借入金	7,387,611	8,582,233
環境対策引当金	13,568	13,568
退職給付に係る負債	135,338	141,650
資産除去債務	31,488	31,773
その他	312,312	271,738
固定負債合計	7,880,318	9,040,964
負債合計	12,620,090	13,927,444

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	3,368,616	3,575,007
自己株式	△151,003	△151,003
株主資本合計	4,817,054	5,023,446
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,807	2,917
繰延ヘッジ損益	△138,365	△229,903
為替換算調整勘定	21,035	16,915
その他の包括利益累計額合計	△115,523	△210,070
純資産合計	4,701,531	4,813,376
負債純資産合計	17,321,621	18,740,820

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	9,012,987	9,192,997
売上原価	5,186,926	5,281,977
売上総利益	3,826,060	3,911,020
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	1,125,899	1,098,228
貸倒引当金繰入額	10,214	9,602
ポイント引当金繰入額	26,044	56,595
給料手当及び賞与	898,826	881,833
賞与引当金繰入額	146,879	144,651
その他	1,303,333	1,311,261
販売費及び一般管理費合計	3,511,197	3,502,172
営業利益	314,863	408,847
営業外収益		
受取利息	3,498	2,826
受取配当金	1,144	1,221
デリバティブ評価益	-	12,248
その他	24,552	12,005
営業外収益合計	29,194	28,301
営業外費用		
支払利息	56,685	52,226
その他	13,169	7,707
営業外費用合計	69,855	59,934
経常利益	274,202	377,215
特別損失		
減損損失	40,770	-
特別損失合計	40,770	-
税金等調整前四半期純利益	233,432	377,215
法人税、住民税及び事業税	41,786	138,167
法人税等調整額	34,467	△16,053
法人税等合計	76,254	122,114
四半期純利益	157,178	255,101
親会社株主に帰属する四半期純利益	157,178	255,101

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	157,178	255,101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,169	1,110
繰延ヘッジ損益	△131,046	△91,538
為替換算調整勘定	668	△4,119
その他の包括利益合計	△136,547	△94,547
四半期包括利益	20,630	160,554
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,630	160,554
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	233,432	377,215
減価償却費	151,737	164,509
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,691	1,427
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,565	2,827
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	3,050	3,470
ポイント引当金の増減額(△は減少)	1,481	19,104
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,101	6,312
受取利息及び受取配当金	△4,642	△4,048
支払利息	56,685	52,226
為替差損益(△は益)	58	176
減損損失	40,770	-
売上債権の増減額(△は増加)	1,468	26,095
たな卸資産の増減額(△は増加)	658,334	△391,434
仕入債務の増減額(△は減少)	△72,522	△131,869
その他	78,096	△118,740
小計	1,162,310	7,272
利息及び配当金の受取額	4,029	4,284
利息の支払額	△56,886	△51,726
法人税等の支払額	△150,400	△75,560
営業活動によるキャッシュ・フロー	959,053	△115,730
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,100,600	△4,700,400
定期預金の払戻による収入	1,700,000	3,203,400
有形固定資産の取得による支出	△69,331	△5,492
有形固定資産の売却による収入	84,146	-
無形固定資産の取得による支出	△7,602	△83,861
投資有価証券の取得による支出	△1,670	△1,706
その他	50	△1,730
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,395,007	△1,589,791
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,100,000	2,750,000
長期借入金の返済による支出	△1,311,637	△1,304,242
配当金の支払額	△48,498	△48,733
その他	△30,502	△36,794
財務活動によるキャッシュ・フロー	709,362	1,360,229
現金及び現金同等物に係る換算差額	345	△3,513
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	273,753	△348,805
現金及び現金同等物の期首残高	2,806,363	2,302,735
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,080,116	1,953,930

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I. 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	通信販売事業	ディスカウント 事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,387,729	4,257,392	367,865	9,012,987	—	9,012,987
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,387,729	4,257,392	367,865	9,012,987	—	9,012,987
セグメント利益	382,201	75,218	60,763	518,184	△203,320	314,863

(注) 1 セグメント利益の調整額△203,320千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 報告セグメントに配分していない遊休資産の帳簿価額を回収可能価額まで減損いたしました。当該減損損失の計上額は、40,770千円です。

II. 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	通信販売事業	ディスカウント 事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,638,608	4,182,279	372,110	9,192,997	—	9,192,997
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,638,608	4,182,279	372,110	9,192,997	—	9,192,997
セグメント利益	442,206	105,260	54,404	601,870	△193,023	408,847

(注) 1 セグメント利益の調整額△193,023千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。